

ちばけん

障害者社会参加推進センターだより

発行・編集 千葉県障害者社会参加推進センター

第 21 号

〒260-0026 千葉市中央区千葉港 4-3 千葉県身体障害者福祉協会内
TEL 043-245-1571・FAX 043-245-1578 E-mail: bcg03245@nifty.com
<http://chibashinshoukyou.style.coocan.jp/>



ストラップ型ヘルプマークを配布しています！

県では、障害等により支援や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が、周囲の人に支援等を必要としていることを知らせるためのストラップ型ヘルプマークを作成し、各市町村、県健康福祉センター窓口で対象者の方へ配布していますので、必要な方はぜひ御活用ください。

ストラップ型ヘルプマーク

ヘルプカード



あなたの支援が必要です。

ヘルプカード

千葉県

チーバケン

をして欲しいこと
配慮や手助け
して欲しいこと
を記載してくだ
さい。

ふりがな 名前 千葉太郎

住所 千葉市中央区市場町 1-1

性別 血液型 RH± 生年月日
男・女 A・B・O・AB +・- 80年0月0日

障害名 病名 〇〇障害

関係 (母)
00-0000

関係 (勤務先)
00-0000

病院 〇〇病院

担当医名 〇〇〇〇先生
電話番号 000-000-0000

必要な配慮の内容や緊急連絡先などの詳細な情報が記載できるため、具体的な援助が得やすくなるカードです

1 ヘルプマークとは

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮等を必要としていることを知らせることができるマークです。

2 ストラップ型ヘルプマークの使い方

ストラップ型になっているので、カバン等に取り付けて使用します。マーク本体の裏面に貼付できるシールを同封しており、シールには、氏名や連絡先、手助けして欲しいこと等が記入できます。より詳細に多くの情報を記載できるヘルプカードと併用し、ストラップ型ヘルプマークはカバンの外に、ヘルプカードはカバンの中に入れて持ち歩く等、工夫して携帯してください。

3 ヘルプマークを携帯している人を見かけた方へ

電車やバスで席をお譲り下さい

外見からは健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。

駅や商業施設で声をかけるなどの配慮をお願いします

公共交通機関の事故等、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降等の動作が困難な方がいます。

災害時は安全に避難するための支援や避難場所での声かけ等の支援をお願いします

視覚障害者や聴覚障害者等の状況把握が難しい方、肢体不自由者等の自力での迅速な避難が困難な方、人が大勢いる避難場所等でストレスを感じる方がいます。

4 配布場所

- 各市町村障害福祉担当課
- 県健康福祉センター
 - 習志野 047-475-5151
 - 野田 04-7124-8155
 - 香取 0478-52-9161
 - 山武 0475-54-0611
 - 安房 0470-22-4511 (鴨川 04-7092-4511)
 - 市原 0436-21-6391
 - 市川 047-377-1101
 - 印旛 043-483-1133 (成田支所 0476-26-7231)
 - 海匝 0479-22-0206 (八日市場 0479-72-1281)
 - 長生 0475-22-5167
 - 夷隅 0470-73-0145
 - 君津 0438-22-3743
 - 松戸 047-361-2121

※個別の対応については、お住まいの市町村にお問合せください

！！声帯がなくても声は出せます！！

京葉喉友会の活動概要



・京葉喉友会は、特定非営利活動法人「全国喉摘者団体連合会」（55団体）傘下の喉摘者団体であり、喉頭摘出手術を受けた者が発声練習を通じて相互の友愛と親睦を図り、社会活動への積極的参加を促すことを目的として活動中です。会員数は約110名（H30年度末）。

「全国喉摘者団体連合会」は、次の7つのブロックにまとめられて運営されており、京葉喉友会は、東日本ブロックに所属しています。

（参考）ブロック名および担当地域

北日本ブロック：北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島（9団体）

東日本ブロック：東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・栃木・長野・新潟（11団体）

中部日本ブロック：静岡・愛知・岐阜・富山・石川・福井（7団体）

近畿ブロック：三重・滋賀・京都・大阪・奈良・兵庫・和歌山（11団体）

中国ブロック：鳥取・島根・岡山・広島・山口（5団体）

四国ブロック：徳島・香川・愛媛・高知（4団体）

九州ブロック：福岡・大分・熊本・鹿児島（8団体）

・具体的な活動方針

- 1 喉頭摘手術を受けた者の発声練習に関する研究及び指導並びに発声教室の運営
- 2 会員の啓発及び親睦のための機関誌の発行
- 3 会員の福祉の充実並びに発声技術向上を図るための講演会、研修会並びに親睦旅行その他催事の実施
- 4 発声補助器の研究調査及び人口喉頭による発声のための器具の斡旋
- 5 日本喉摘者団体連合会傘下の友好団体及び千葉県内の身体障害者各既成団体等との交流及び連携並びに親睦
- 6 その他本会の目的達成に必要な事業

・発声教室開催状況

千葉県委託発声講習会 36回及び京葉喉友会自主講習会 5回計 41回（平成31年度）

発声教室の場所：千葉市生涯学習センター（千葉市中央区弁天3丁目7番7号）

講習会開催日：毎週金曜日（除祝日・第5金）

・教室の運営状況

発声方法により「食道発声クラス（シャント発声を含む）」及び「電気式人工喉頭クラス」に分け、食道発声クラスは、発声力に応じて、「初級クラス」「中級クラス」「上級クラス」に分けて、それぞれのレベルに応じた発声練習を行っている。

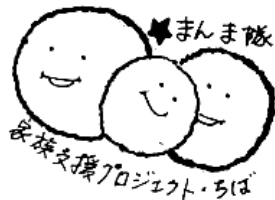
食道発声は、空気を食道に強制的に吸い込み、げっぷの要領で息を吐くときに、食道の一部を振動させて音を出し、口の形、下の位置で、あいうえおの音声を発声。

電気式人工喉頭クラスでは、電気振動を起こす器械を喉にあて、音を発声させ、食道発声同様、口の形、舌の位置で、あいうえおの声を発声。

※京葉喉友会事務局

〒270-0176 流山市加1-5-1 サウスコート1-312 川波俊彦方

TEL&fax: 04-7159-2163 e-mail: it181325@yahoo.co.jp



「何かに気づくワークショップ」をやっています！

家族支援プロジェクトちば実行委員会まんま隊 澁川 彰子

手をつなぐ育成会は知的障害のある本人と家族の会で、普段は市町村単位で活動しています。育成会の活動の柱は二つあり、一つは本人が自分の望んだところで安心安全に暮らす社会の実現に取り組むこと、もう一つは親やきょうだいなど家族全体を支えていく活動です。家族支援プロジェクトは、全日本手をつなぐ育成会（現 全国手をつなぐ育成会連合会）が開発したプログラムを使い、ワークショップ（参加型学習会）で家族自身の思いを整理し、本人や家族一人ひとりが将来を考えるきっかけを作ることを目的にした活動です。まんま隊は千葉県と千葉市の手をつなぐ育成会の後押しを受け、千葉県内でワークショップを開催する活動を始めて十年になります。各地の育成会はもちろん、中核地域生活支援センター、自立支援協議会、特別支援学校 PTA、幼児の療育センター等からお招きをいただいています。

障害のある子どもを家族に迎えた時、多くの家族はとまどったり混乱したりすることでしょう。そして子どもが成長するに従って学校のこと、卒業後のこと、それぞれの時期に考えなければならぬことがたくさん出てきます。家族にとっても長い人生ですので、時には自分自身のことを振り返り、将来に思いを馳せる機会が必要です。ワークショップは、スライドを見たりチェックシートに記入したりグループに分かれて話し合いをすることによって、参加者一人一人が「私はこう考えているな、私はこうしたいな」と今の自分を見つめ、次のステップに進めるようなプログラムで構成されています。また、障害のある本人がより良い一生を過ごすために、家族としてどのような支援をするかを考えることができます。

まんま隊はワークショップのファシリテーター（家族支援の意義を理解しワークショップを進行する役割）として、参加者の皆さんがテーマに沿って話し合うお手伝いをしています。話し合いは「パスする権利」「上下関係や比較・評価を持ち込まない」「この場で話したことは外に持ち出さない」などルールがあり、話すことが苦手な方も安心して参加することができます。

ワークショップでのグループは子どもや親の世代が同年代の時、世代差のある時があります。いろいろな世代の親が話し合っ共感したり先輩の体験談に感心したり、今まで育成会が取り組んできた親同士の認め合いや支え合いの経験がワークショップに生かされています。ワークショップで参加者の皆さんが何かの発見をし、本人と家族のこれからの生活を豊かなものにするヒントにさせていただくこと、それがまんま隊の願いです。

■ワークショップ開催のお問い合わせ

千葉県手をつなぐ育成会 043-246-2181
info@chi-ikuseikai.com

千葉市手をつなぐ育成会 043-206-4050
chiba-chibahands@dance.ocn.ne.jp

まんま隊活動の詳細は、千葉県手をつなぐ育成会のホームページをご覧ください。

<http://chi-ikuseikai.com/>

